

『行動分析学研究』投稿規定

本誌の秀抜論文 (Original Article)、一般論文 (Article)、研究報告 (Research Report)、実践報告 (Practical Report)、テクニカルノート (Technical Note)、展望 (Review)、討論 (Discussion)、解説 (Tutorial) 欄に投稿を希望する方は、以下の事項を守ってください。なお「秀抜論文」という名称は、「一般論文」として投稿されたものの中で特に優れたものに対してつけられた名称です (別掲の『行動分析学研究』執筆の手びきを参照)。

1. 『行動分析学研究』(以下、本誌) に投稿する原稿は、未公刊のものに限る。なお、文部科学省令 (学位規則) により機関リポジトリ等にて公開されている博士論文については、未公刊のものとして扱う。博士論文以外の学位論文についても、学則等でリポジトリ公開が既定されている場合は、未公刊のものとして扱う。
2. 原稿の内容と研究の手続きは、「一般社団法人 日本行動分析学会倫理綱領」に従ったものでなければならない。
3. 原稿は、原則として日本語で書かれたものとする。ただし、編集委員長が必要と認めたものは、英語による原稿も受理する場合がある。
4. 会員・非会員を問わず投稿できる。会員が投稿する場合、会費納入を前提とする。非会員が第一著者として投稿する論文については、審査料 5 千円を査読開始前に徴収する。さらに、論文が受理されたときには掲載料 5 千円を徴収する。ただし、招待論文などについては編集委員長の判断でこの規定の適用外とすることがある。
5. 原稿は、『行動分析学研究』執筆の手びき (以下、手びき) に準拠したものに限られる。
6. 原稿印刷に際して、手びきに定める枚数を越えるもの、あるいは特に費用を要するものは、著者の負担とする。また、抜刷は 20 部を贈呈する。それを越えるものについては、著者の負担とする。
7. 原稿はオンライン投稿・審査システムにより提出する。ファイルは Word および PDF の両方を提出する。本文には通しの行番号をつける。匿名での査読を行うため、原稿からは著者名や所属など、著者を特定できる情報は削除する。図や表は原稿本文の挿入位置に配置する。

8. 原稿が受理されたときは、著者名や所属などを記載した最終版の原稿（Word および PDF）と、図や表の元データを提出する（Excel、PowerPoint、JPEG ファイルなど）。写真や画像データは JPEG または PSD 形式で、出来上がりの大きさを 350 dpi 以上の解像度で保存したファイルを電子メールに添付し、編集事務局に提出する。

編集事務局の電子メール：jjba-edit@je.bunken.co.jp

9. 原稿は、原則として返却しない。

10. 本誌に掲載された記事の著作権（著作財産権）は、一般社団法人 日本行動分析学会（以後、本学会）に帰属する。著者本人を除き本学会の許可なく記事を複製することはできない。記事の公衆送信（インターネット公開を含む）については、著者本人であっても本学会の許可が必要である。ただし、記事を著者本人が博士論文あるいはその一部に用いて学位を取得した場合、その博士論文を文部科学省令（学位規則）にもとづき機関リポジトリ等に登録して公開することは妨げない。博士論文以外の学位論文についても学則等に定めがある場合はこれに準ずるものとする。

11. 初校の校正時に、著者全員が、論文の著作権（著作財産権）を本学会に帰属することに同意する「著作権確認書」および「研究倫理誓約書」に署名して電子メールに添付し、編集事務局に提出する。

2018年5月12日改訂

2026年2月14日改訂